

「支え合い」どうしたら

枝幸 町民有志が研修会



【枝幸】福祉やボランティアに携わる町民有志の実行委(戸田文香代表)主催の「地域ささえあい研修会」が21日、町中央コミュニティセンターで開かれ、約80人が「安心しと地域の人材をつなぐ」をテーマに暮らせる地域づくりを考えた。

放課後児童の居場所を運営する歌登地区の母親グループ代表の開地かほるさん、ボランティアによるお年寄りのサロンを枝幸市街で開いている増輪靖子さん、枝幸中生徒の活動地域での活動について発表する開地さん(左から2人目)

開地さんは、スタッフ自身の変化を紹介し「私たちの張り合いにもなり、みんな活動的になった」。増輪さんは「現在は月1回の開設で、常設にしたいが、経費やボランティアスタッフの確保が課題」と話した。

基調講演をした石狩管内当別町のNPO法人当別青少年活動センター(ゆうゆう24)の大原裕介所長は、事例発表を踏まえ「活動の負担は大きい、例えば発表した3人が連携すれば、それぞれの負担は3分の1になり経費も

節約できる」と提案した。

(寺林正郁)